

家にいることの幸せ

こんにちは！ 去年の4月から三つ葉に加わりました稲垣です。

それまでずっと大学病院ではたらいでいて、入院している患者さんが皆「家がいい」「うちに帰りたい」と言われるのを聞いて、その「家に帰ってから」に関わりたく在宅医療にきました。

三つ葉ではいつでも電話で相談できますし、看護師や薬剤師、歯科医など、いろいろな在宅のスタッフが患者さんの家に集まってきて連携するところが、病院にはない良さです。ご自分の家にいる患者さんは幸せそうで、こちららも励みになります。

訪問診療は長いお付き合いになるので、その経過で新しい病気が見つかることもあります。でも、たとえそういうことが起こったとしても、訪問診療で対応していくことができますので、病院で検査をして後は訪問診療でというご希望にも応えることができます。お家にいたいというご希望を、できる限り叶えていきたいとします。

患者さんたちと接していて、ときどきご遠慮されているな、と感じることがあるのですが、とにかく何でもおっしゃってみてください。できないことは「できない」と言いますが、どんなことでも聞きます！（稲垣・医師）



声

患者さんご家族からのお便り

懐かしい友人に再会したよう

昨年11月、皆様に助けられて母の願いどおり、自分の家で最期を迎えることができましたことを感謝しています。

母がお世話になっていた3年ほどの間、「三つ葉しんぶん」を楽しみにしていました。昨年の12月号が最後になってがっかりしていましたが、何気なく三つ葉のウェブサイトを開いたところ、「三つ葉しんぶん」を見つけました！ なんだか、懐かしい友人に再会できたようで、嬉しかったです。

ありがとうございます！「三つ葉しんぶん」は三つ葉のウェブサイトでお読みいただくことができます。これからもよろしくお願います！



三つ葉のスタッフ紹介

こんにちは！ 昨年4月に医療ソーシャルワーカーとして入社しました保坂と申します。以前は神奈川県内のクリニックで外来患者さんを対象に、病気や障害が原因で日常生活のことや医療費など経済面に不安を抱えている方の相談業務を担当していました。

三つ葉では主に、新しく訪問診療を希望されている方の調整を担当しています。訪問診療が始まることによって、患者さんやご家族がほっとした表情をされることが大変嬉しく、やりがいを感じています。三つ葉の一員として、皆さんの負担や不安を少しでも軽くするお手伝いができればと思います。これからもよろしくお願います。



医療法人 三つ葉
三つ葉在宅クリニック
〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通 3-12
御器所ステーションビル 3F
TEL 052-858-3281 FAX 052-858-3282
URL <http://www.mitsuba-clinic.jp>
三つ葉しんぶん係メールアドレス
tsubuyaki@mitsuba-clinic.jp

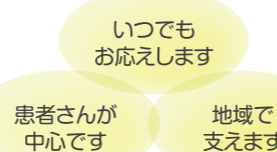


■ 私たちの理念

最高の在宅サービスを提供し
安心して暮らせる社会を創造する



■ 安心を支えるために…



三つ葉しんぶん 31

2014年2月号

「三つ葉しんぶん」は患者さん・ご家族と、三つ葉医師・スタッフの双方向通信です。

今月の一枚 ～ 強く、美しく。

鏡味はつさん（99歳）は、激動の時代を生き抜いてきた大正生まれの女性らしく、とても前向き、そして好奇心旺盛な方です。

魚加工業を営んでいたご主人を支え、70歳代まで長靴をはいて現場に立っていたそうです。引退してからは、手芸や園芸を習い、取り組みました。あるときは夜にだけ花開く「月下美人」というサボテンの花を咲かせ、周りの人たちを招いて楽しませてくれたこともあるそうです。そして80歳のときには生まれて初めての海外旅行！ カリフォルニアに暮らすお孫さん家族を訪ねて、たった一人で飛行機に乗り海を越えました。

いま主に介護しているのは嫁・加代子さん。はつさんは「とても頭のいい人で、決断力もあるしっかりした人でした。今も、何かを教えてくれているし見習うことがあります」と話します。

「1世紀まであと1年はがんばる」と明るく支え合うご家族です。

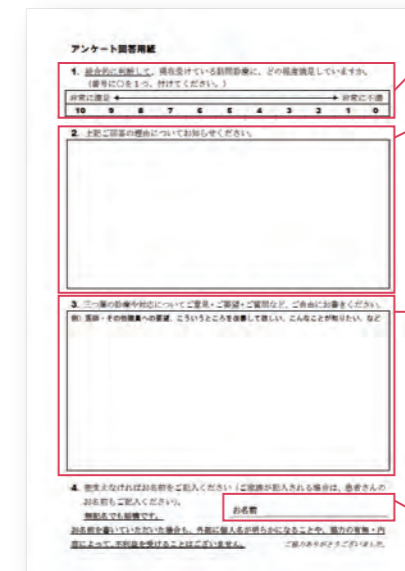
▶ はつさんと息子さんご夫婦



満足度調査にご協力をお願いします。

今年もまた「患者さん満足度調査」を実施させていただきます。この「三つ葉しんぶん」とともにアンケート用紙と返信用封筒を同封いたしました。10点満点での満足度、そしてこの機会に忌憚のないご意見をご記入いただき、お送りください（切手は不要です）。

この調査は毎年行っており、今年は患者さんに加え、地域の訪問看護ステーション、ケアマネジャーさんたちにもアンケートをお送りしています。皆さんの声を大切に、少しずつでも改善につなげていきたいと思っております。お手数ですが、ぜひご協力をお願いいたします。



満足度を0～10までの数値でお知らせください。

満足度の理由を教えてください。

訪問診療の際、「もっとこうしてほしい」「面と向かっては言いにくいけれど、伝えておきたい」ことなど、どんなことでも書いてください。

お名前のご記入は自由です。

尿検査にみる感染症との闘い

毎年の健康診断で必ず行う尿検査、ちょっと体調を崩して病院や診療所を受診するときも比較的よく行われます。三つ葉でも採尿して検査することがよくあります。

それほど身近な尿検査では、いったい何を調べているのでしょうか。なんとそこからは、人類の感染症との闘いが垣間見えてきます。今回は尿の検査について紹介します。

尿検査のいろいろ

よく健康診断で、尿に「糖が出ている」「たんぱくが出た」などといわれることがあります。これらを調べているのは「尿一般検査」といいます。

尿(おしっこ)をつくる腎臓は、血液中のたんぱくや赤血球、ブドウ糖、ナトリウム、カリウムなど、私たちの体に必要な栄養分をろ過して再吸収するという役割があります。そこで吸収されなかった、つまり再利用ができない老廃物(アンモニアなど)が、尿に混ざって排泄されるのです。だから、たんぱくや赤血球(潜血)、糖などが尿に出てくるといことは、腎臓の機能になんらかの問題が生じている可能性を示します。

定期的に、こうした問題がないかを調べることは大切です。

尿一般検査

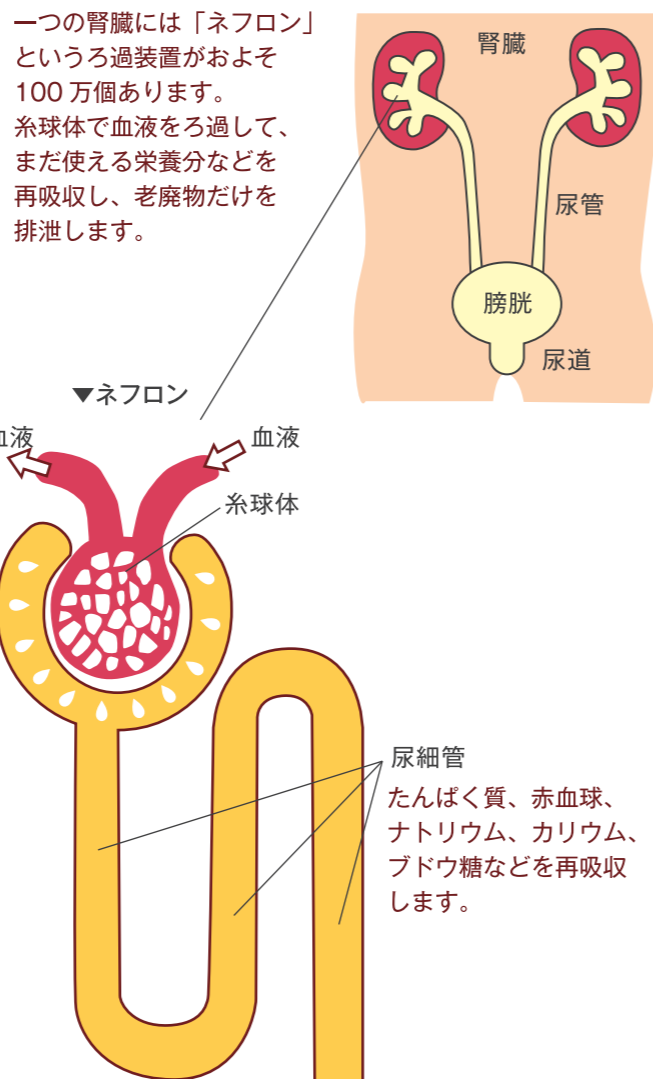
項目	基準値
たんぱく	(-)
糖	(-)
潜血	(-)
pH	4.5 ~ 8.0

他にケトン体、ウロビリ、ビルビリを調べています。

尿に混じった細胞を調べる

さて、三つ葉で診療の際に尿検査をする場合は、実はちょっと診ているところが違います。

ポイントは「尿沈渣」。採取した尿を遠心分離して有形の成分を沈殿させ、右のような細胞が検出される場合があります。



尿沈渣

赤血球	泌尿器での出血が疑われます。
白血球	尿路感染症が疑われます。
腎臓・膀胱などの細胞	泌尿器の何らかの異常が疑われます。

培養検査で、敵と武器を知る。

もうひとつの重要な検査が「培養」です。尿だけでなく、喀痰や血液などいろいろな検体を培養して、どんな細菌がいるのか、そしてその菌に効く薬は何かを調べます。

塗抹・培養・同定…敵を知る。

採取した尿検体を、スライドガラスに塗り染色し、顕微鏡で観察します。そして培養して菌を増やし、どんな菌なのか種類を特定します。

薬剤感受性検査…武器を選ぶ。

細菌には抗生剤を投与。これが医療では常套手段なのですが、抗生剤が効かないこともあります。抗生剤が効かない菌を「耐性菌」と呼びます。

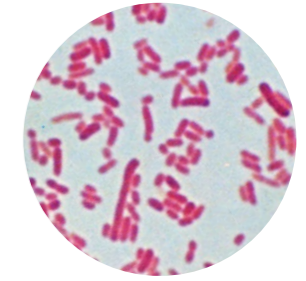
さまざまな抗生剤が、細菌に対して効くのか効かないのか(感受性)を調べることが可能です。その結果によって、より効果的な薬を使うことが、感染症を早く治す近道です。

いろいろな菌に対してよく効く強い抗生剤も存在はするのですが、それを不用意に使い続けることで、さらに薬に対して耐性をもつ菌が増えてしまい、その人の感染症を治す手段がなくなってしまう、ということもあり得ます。

尿路感染症

腎臓から尿道に至る尿路において、細菌やウイルスなどが引き起こす炎症です。普段は無菌の腎臓や膀胱に、外部から病原菌が侵入して、尿に含まれる細胞や養分を餌に増殖するのです。尿路感染症の原因菌として一番多いのは大腸菌です。

三つ葉の患者さんで「熱が出た」というときに、一番多いのが誤嚥性肺炎、次がこの尿路感染症です。



尿路感染症の原因菌として一番多い大腸菌。細菌の種類としては「グラム陰性桿菌」といいます。グラム染色という方法で紫色に染まらず赤いまま(グラム陰性)の細長い菌(桿菌)です。

抗生剤と耐性菌

その昔、感染症にかかったら死ぬ、というのが普通でした。しかし20世紀前半に「ペニシリン」という抗生物質が発見・実用化されて以来、薬で細菌を殺して病気を治すことができるようになりました。

ところが細菌のほうも負けていません。どんどんと形を変え、薬剤への耐性を獲得し、あれも効かない、これも効かないという状態が増えてきたのです。さらに強力な抗生剤の開発→細菌が耐性を獲得するというイタチごっこが繰り返されています。



4 尿路感染症のリスク要因

- 1 尿カテーテルを使っている人
尿道から雑菌が入りやすいため非常に多いです。
- 2 おむつを使っている人
尿道口のまわりで雑菌が繁殖しやすい環境です。
- 3 高齢者
加齢とともに膀胱に尿が残りやすくなります。膀胱内で雑菌が繁殖しやすい環境です。
- 4 女性
尿道口と肛門が近い女性のほうが、膀胱炎などにかかりやすいといえます。